

## 東新田村若中文書概要

- 1: 文書群番号 092014
- 2: 文書群名 東新田村若中文書
- 3: 出所 東新田村若者組
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 摂津国武庫郡東新田／兵庫県武庫郡東新田／武庫郡大庄村東新田／尼崎市東／尼崎市東・蓬川町ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
- 7: 歴史 東新田村は市城南西部に位置した村で、集落の南に中国街道が接していた。「細川両家記」（永正16年、1519）には浜田・大島に続いて「新田」と記されており、もとは西新田と一体で、戦国時代に開発されたものとみられている。昭和27年（1952）には西新田にかけての大庄湿地帯が開発されて尼崎競艇場が建設され、38年には阪神電鉄のセンタープール前駅が常設駅となった。
- 8: 伝来 平成4年（1992）11月12日に受入、平成15年（2003）1月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 小寺紘一氏
- 10: 点数 4点（目録件数4件）
- 11: 年代 文化7年（1810）～明治5年（1872）
- 12: 構造と内容 本文書群は近世後期～明治初期の東新田村若中関係の文書で、宮・地藏番廻り帳と若者組解散の約定書から構成されている。
- 13: 関連史料
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛